

主要事業の紹介

子育て

子ども施設整備基金積立事業 2億3万円 (子ども課)

保育関連施設を計画的に建替え、修繕するために必要な財源の積立

子ども手当支給事業 14億6,888万円 (子ども課)

3歳未満の子ども月額1万5千円、3歳以上小学校修了までの子ども月額1万円 (第3子以降は1万5千円)、中学生月額1万円、所得制限限度額以上の場合月額5千円の手当を支給

新知立南保育園建設事業 5億9,961万円 (子ども課)

老朽化した知立南保育園の建替え (平成25年度開園予定)

新中央子育て支援センター建設事業 905万円 (子ども課)

子どもと家庭に関する総合的な支援を目指し、独立した子育て支援センターを建設 (平成24年度は基本設計)

学校給食環境整備事業 257万円 (教育庶務課)

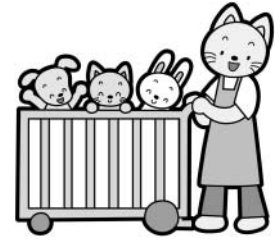
安心で安全な学校給食を提供するために、使用する食材の放射能測定を実施

少人数学級事業・きめ細かな指導対応教員配置事業 5,471万円 (学校教育課)

- ・きめ細かな学校教育を推進するために、小学校3・4年生を対象に学級担任を配置し、少人数学級を実施
- ・小学校5・6年生および発達障がいのある児童と特別支援学級を対象にきめ細かな対応指導教員を配置

中学校武道必修化に伴う体育授業補助員配置事業 34万円 (学校教育課)

中学校体育授業における柔道指導において、安全確保と授業の充実を図るため、補助員 (外部講師) を配置



安心・安全

防犯対策事業 1,037万円 (安心安全課)

- ・地域住民で組織する防犯ボランティア団体への活動支援
- ・防犯教室の開催
- ・警察署と連携した防犯キャンペーン・犯罪抑止のための夜間パトロール

防災ラジオモニター事業 84万円 (安心安全課)

防災ラジオの有効性を検証するためのモニター事業

耐震改修等事業 5,521万円 (建築課)

制度を拡充し、耐震シェルター設置に対しても補助を実施



福祉・健康

子宮頸がん等ワクチン接種事業 8,830万円 (健康増進課)

子宮頸がん、インフルエンザ菌b型感染症、小児肺炎球菌感染症を予防するためのワクチンを、生後2か月から高校1年生までの各対象年齢の子どもに接種

特定年齢がん検診推進事業 1,229万円 (健康増進課)

女性特有のがんである「子宮頸がん」と「乳がん」および働く世代への「大腸がん」の検診受診を推進するため、節目年齢の人に無料受診を実施



環境

自然エネルギー利用システム設置整備事業 3,536万円 (環境課)

太陽光発電設備および太陽熱利用システムの設置についての補助

低公害車購入促進事業 756万円 (環境課)

プラグインハイブリッド自動車・電気自動車・天然ガス自動車の購入についての補助



その他

多文化共生センター設置事業 433万円 (協働推進課)

外国籍居住者の多い昭和地区に多文化共生センターを設置

多目的広場整備事業 5,400万円 (生涯学習スポーツ課)

国道23号線高架下に屋外スポーツ施設を整備

文化会館改修計画策定事業 500万円 (文化課)

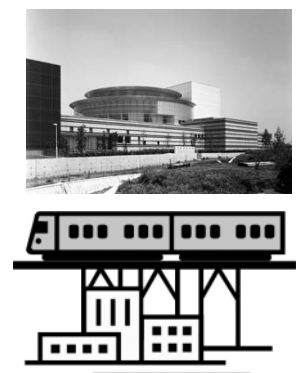
開館から12年目を迎える文化会館の改修計画を策定

松並木樹木診断事業 84万円 (文化課)

市の文化財である松並木を保全するために松の樹木診断を実施

中心市街地の整備 14億1,724万円 (都市開発課・まちづくり課)

- ・連続立体交差事業：鉄道を高架化し都市交通の円滑化を図る
- ・駅周辺土地区画整理事業・駅北地区市街地再開発事業：知立駅周辺の都市基盤の整備



平成24年度 当初予算

平成24年度当初予算は、一般会計・特別会計・企業会計の総額で336億7千730万円（前年度比4.1%増）となりました。

我が国の経済は、景気は緩やかに持ち直していると言われていたものの、東日本大震災や欧州の財政問題の影響などにより下押しされるリスクを抱えており、依然として予断を許さない状況が続いています。

そのような中で、本市の平成24年度当初予算は、固定資産税の評価見直しなどにより市税収入は減収することが見込まれる一方で、知立南保育園の建設や連続立体交差事業などの大型事業に係る経費が増加することから、極めて厳しい財政状況に対応する内容となりました。しかしながら、限られた財源の中で、子育て支援、防犯対策、環境対策、福祉・健康など市民生活により必要とされる事業に重点を置き、誰もが「安心・安全」に暮らせるまちづくりの実現に向け、各種事業に取り組み予算となつていきます。

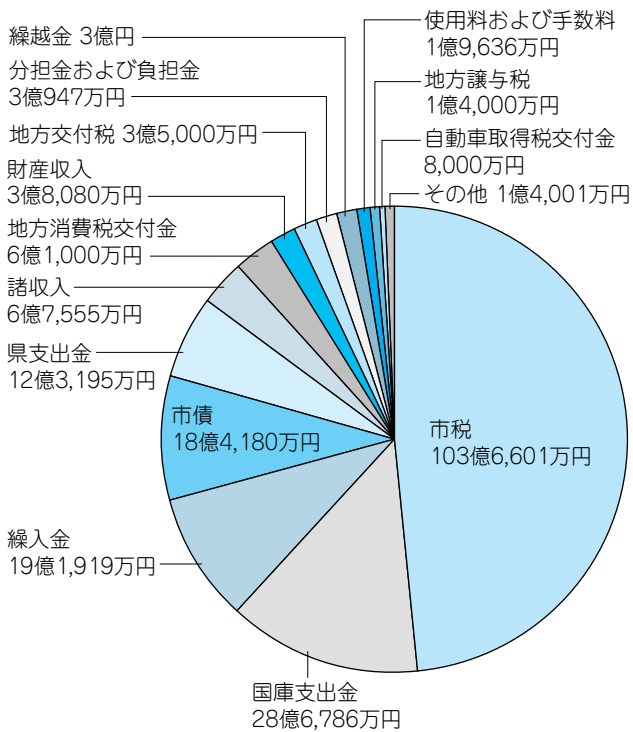
なお、予算編成段階において、各課で事務改善や事業見直しに取り組んだ結果、約9千300万円の削減ができました。また、平成24年度は職員一人一人が今一度身の回りを見つめ直し、「モットイナイ」意識を高めることを目標に『モットイナイ大作戦』を掲げ、需用費などの経常経費削減に努めます。

▼問合せ 企画政策課 財務係（内線288・289）

■ 一般会計 総額214億900万円（前年度比 3.1%増）

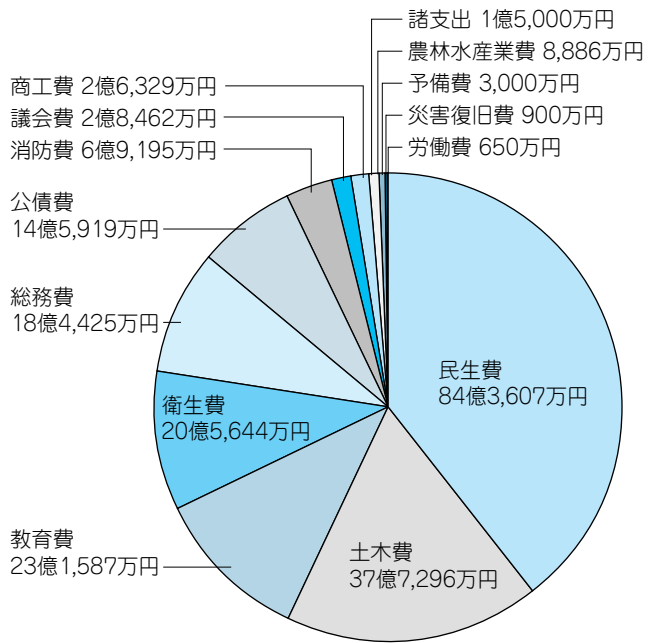
【歳入】

合計 214億900万円



【歳出】

合計 214億900万円



■ 特別会計 総額103億5,460万円（前年度比 7.1%増）

会計名	予算額	前年度比
国民健康保険	53億9,870万円	5.4%増
公共下水道事業	18億3,800万円	5.6%増
土地取得	150万円	50.0%増
介護保険	25億2,760万円	11.2%増
後期高齢者医療	5億8,880万円	10.4%増

■ 企業会計（水道事業） 総額19億1,370万円（前年度比 0.4%減）

内訳

収益的支出	10億8,890万円
資本的支出	8億2,480万円